



愛と自由と誠心と

沼津聴覚特別支援学校

令和7年度 NO5

今回は、通級生や先輩方との交流や、中学部、高等部の生徒の挑戦したことについてお知らせします。
【地域支援部】8月5日(火)

通級生「夏のつどい」がありました



8月5日に、通級生「夏のつどい」を実施しました。当日は、たくさんの通級生と保護者の方に御参加いただき、楽しい時間を過ごすことができました。

通級生のつどい

「友達ビンゴ」や「盆踊り」を通して交流を深めました。初めて会う友達とも、協力して活動する中で心もほぐれ、笑顔が多くあふれるつどいになりました。



保護者のつどい

保護者向けの講演会では、本校の聴覚障害がある教員から、「自己理解を深めるために」をテーマに話を聞く会を設けました。参加者からは「子どもとの向き合い方を考える良い機会になった。」「将来のことが具体的にイメージできた。」といった感想が寄せられました。

【高等部】9月13日(土)

先輩と話す会

高等部を卒業した先輩から、進学や就職に関する話を聞いて視野を広げたり、卒業後の生活について分からないことを質問して知識を高めたりするために、「先輩と話す会」を実施しました。平成27年度から令和6年度までの卒業生9人が参加してくれました。卒業生たちは、久しぶりの母校を懐かしがったり、旧友との会話を楽しんだりする様子が見られました。また、後輩からの質問に対して、優しく、分かりやすく答えようとする姿が見られ、高等部の頃より成長したなど感じました。一方、高等部の生徒たちは、卒業生に仕事のやりがいや大変なこと、休日にしていること等質問したかった話を聞くことができ、「非常に参考になる話を聞くことができよかった。」と感想を伝えていました。今回教えていただいたことをぜひ、これからの学校生活や卒業後の生活に生かしてもらおうと共に、卒業後は後輩のためにぜひこの会に来て、在校生と卒業生の輪を広げて欲しいと感じる一日でした。



【地域支援部】9月13日(土)

【地域支援 中学生のつどい】

通級指導教室の「中学生のつどい」では7人の中学生が参加しました。普段は別々の曜日に通学をしているので、一同に集まるのは初めての機会でした。

最初は、漢字を一字添えて自己紹介を行いました。「勉」や「克」など学習に関する言葉を選ぶ生徒や「猫」「食」など自分の興味に関する言葉を選ぶ生徒などそれぞれ個性が見られました。次にアイスブレイキングとして「以心伝心ゲーム」を行いました。「ケーキといれば?」「かわいい動物といえ?」などのお題に、一人ひとりが考えを書きました。全員の答えは揃いませんでしたが、お互いの距離も近づき楽しい雰囲気で行うことができました。

続いて、グループに分かれて、クイズを行いました。「中学生のうち、朝ごはんを食べるのは何%?」など問題が出題されました。グループの話し合いの中で、「このグループでは、半分食べるから50%を基本として…」や「私の在籍校のクラスでは…」など相談をして答えを考えていました。

最後にテーマトークを行いました。「Q 100年後、補聴器や人工内耳がどんなふうになってくれるといい?」や「Q 休み時間など聞こえにくかったときどうしている?」など質問に対して、在籍校では普段考えない、言わないようなことを、素直に自分の思いや考えを話してくれました。友達の思いや考えに聞いている側も「うんうん」と頷き、「わかるー。」と共感する様子が見られました。

感想では、「同じ悩みを持っている中学生と人と関わることができて良かったです。」や「悩みや考えをみんなで共感できた。」という意見を持ち、良い時間を過ごすことができたようでした。



【中学部・高等部】9月18日(木)

こえのもり しずおか

静岡県健康福祉部こども政策課の企画する、若者の意見を県内自治体の事業に反映させることを目的として「こえのもりしずおか」の取組に、中学部・高等部の生徒が参加しました。

こども政策課の方から説明を聞いた後、実際に一人一台端末を使用し、自分の意見や考えを投稿しました。「目標のために大人に手伝ってほしいことは何ですか?」や「あなたが学校などで学ぶ時、大切だと思うことは何ですか」などといった4つの問いに対し、一つ一つじっくりと考えて回答する姿が見られました。また、投稿するとすぐに反映されるのを見て、驚く様子も見られました。

色々な人の意見を読むこともでき、同感するような意見があると「いいね」を押すことができると教えていただきました。他の人の意見を読んで、子供たちからは「自分だけではない、他の人の考えを知ることができるのがいいと思う。」といった感想や「自分と同じことで悩んでいる人がいることがわかって安心した。」という声が聞かれました。

今回のこの経験は、自分の考えや意見を発信することで、社会に参画する意識を高めたり、他者の考えに触れ、視野を広げたりできるよい機会になりました。この経験を基に、社会とのつながりを大切にできる生徒を育てていきたいと思えます。

